



# TOKYO 2020

## 競技会場における検温等による 新型コロナウイルス感染防止業務委託

組織委員会 大会運営局 会場運営計画課

2021年5月20日(木)

# 1. 概要

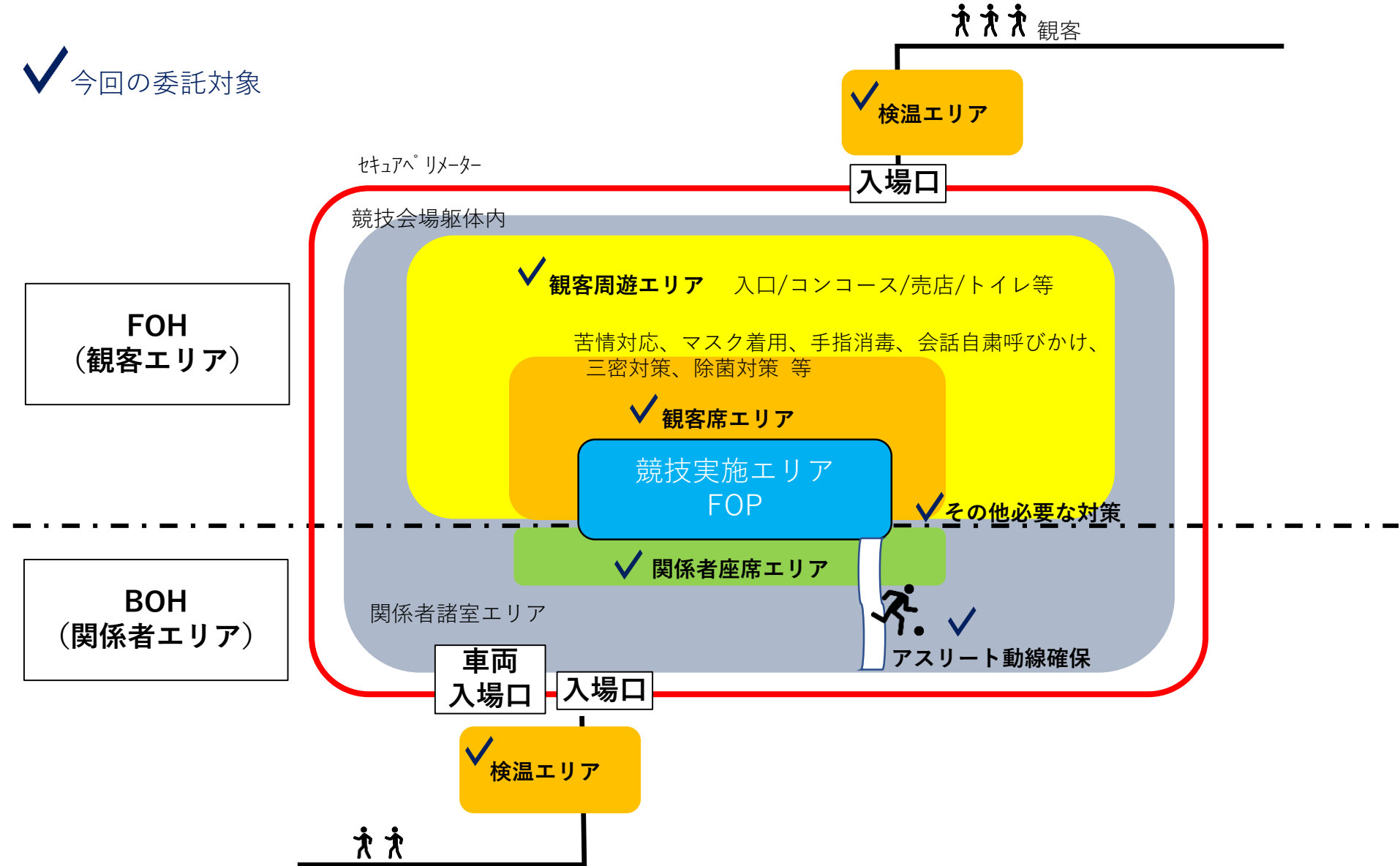
世界的なコロナウィルスの蔓延に伴い、安全かつ安心に大会を実施、運営するためには、政府方針等も踏まえ、各競技会場においても万全のコロナ対策を講じて、ステークホルダーの安全の確保と円滑な運営を両立させる必要がある。

既に、各競技会場においては、国内スポーツイベント運営に精通し、コロナ禍でのイベント実施の知見も有する事業者と契約し、コロナ対策計画策定等を進めてきている。

事業者がこれまで積み上げてきた会場運営に関する知見やノウハウを最大限に活かしながら、大会期間中の競技会場における感染防止実施業務について委託するものである。

# 2. 本委託で業務実施するエリア（図示）

✓ 今回の委託対象



# 3. 業務概要

## 【基本的な感染防止策】

会場で発熱等の体調不良者が発生した場合の一次的な対応等を行うとともに、「フィジカルディスタンスの確保」・「マスクの着用」・「手指衛生」・「密閉・密集・密接の回避」・「換気」・「モノ経由の接触感染回避」の中で実現可能な対策を検討するとともに、周知徹底など啓発を行う。  
(新型コロナウイルス感染症対策調整会議 中間整理より)

上記を踏まえ  
以下のとおり対策を実施

## 【大会期間中の感染防止対策を以下のとおり実施】

- ・ 観客、関係者向けの検温所の運営
- ・ 必要なアスリート動線の確保
- ・ 会場内で必要なフィジカルディスタンス確保に向けた対応  
(特に混雑が想定される箇所：検温エリア、コンコース、トイレ、売店等)
- ・ 観客席/関係者席等における、マスク着用、手指消毒、会話自粛の呼びかけ等
- ・ FA（部門）間の役割の抜け漏れのフォロー 等

# 4-1. 業務内容

## 【競技会場入場前の対策例】

- 観客PSA前での検温実施・運営
- 関係者PSA前での検温実施・運営
- 検温エリア前における観客及び関係者の滞留整理、PD確保
- 発熱者の対応
- 苦情対応業務

## 【競技会場内における対策例】

- ✓ アスリート、競技関係者
- 練習時、大会本番時において、会場到着時から更衣室までの他ステークホルダーとの動線分離に係る対応

## 4-2. 業務内容

### 【競技会場内における対策例】

- ✓ 放送関係者（OBS）、プレス（記者等）
  - カメラポジション、コメンタリーポジションの三密、除菌対策
  - ミックスゾーンにおける三密、除菌対策
  
- ✓ 観客
  - 観客席エリア全体におけるマスク着用、手指消毒、会話自粛呼びかけ、三密対策、除菌対策
  - 観客席における苦情対応業務（感染対策に関する苦情受付）
  - コンコースにおける三密、除菌対策
  - トイレ、コンセッション、ライセンシングショップの待機列（共用部）整理、PD確保
  
- ✓ その他必要なコロナ対策業務

## 5. 契約予定金額について

会場チームの組織委職員を中心に必要金額を算出  
会場ごとに対策の実施内容や水準に大きな差あり。

対策内容を明確にすることで規模感を精査  
ポスト単価と物件費単価を継続的に見直し  
▣ 上記により当初見込額を精査

< 契約予定金額をV5予算の範囲内まで削減 >